✔お知らせ

- 画面を左右にフリックすると、静止画撮影／動画撮影に切り替えられます。

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画前や録画中に画面中央にピント合わせを行います。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ ライト

暗い所で録画する際に、撮影ライトを点灯するかを設定します。

■ HDR撮影

画面の明暗部を調整して、逆光のシーンでも黒つぶれを抑えた動画になるように設定します。

■ 手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかを設定します。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、動画撮影中は録画を停止します）。

■ 露出／WB調整

撮影画面の露出補正（）／ホワイトバランス調整（WB）アイコンの表示を設定します。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる：[←]

- QRコードの読み取りに設定する前の撮影モードに戻ります。

ライトの点灯／消灯：[メニュー] → [ライト ON] ／ [ライト OFF]

4 読み取りデータを確認

データの保存：読み取り結果画面で［メニュー］→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

履歴の表示：QRコード撮影画面で［メニュー］→［履歴］→履歴を選択

❖QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：［メニュー］→［電話帳一括登録］→電話帳を登録

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

電話をかける：電話番号を選択→

Scene

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。
  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
  ※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 静止画表示／動画再生

1 **ホーム画面で→[アルバム-Scene]**

2 **画像を選択**

画像一覧画面が表示されます。

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画はをタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

※1：写真一覧、アルバム一覧、設定などの画面へ切り替え
※2：アップデートや共有アルバムへのコメント、写真追加などのお知らせを表示
：写真の送信、削除などの各種操作
：一覧に表示する写真の選択
：カメラの起動

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。

※1 画面左端から右へスライドしても表示できます。
※2 画面右端から左へスライドしても表示できます。

❖ 画像を分類して表示

- 画像一覧画面で→［整理モード］をタップすると、アルバムを表示します。
- 日付をタップするとカレンダーが表示され、日付ごとに写真や動画が分類されます。

✔お知らせ

- 画像一覧画面で画面中央から右へスライドしてもアルバムを表示します。

❖ アルバム／画像の選択操作

- 画像一覧画面で→［整理モード］をタップして画像をタップすると、チェックが表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像が選択状態のときは、画面上部に選択件数が表示されます。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、dマーケットなどからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、WMA、Opusです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、H.265、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- 本端末は、ハイレゾ音源の再生に対応しています。再生可能なファイルはサンプリング周波数44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、量子化ビット数24bit、チャネル数2chのFLAC、PCMです。
- ハイレゾ音源を再生する場合は、ハイレゾに対応したイヤホンをステレオイヤホン端子に接続して、本端末内やmicroSDカード内のファイルを再生してください。スピーカーやBluetoothヘッドセットなどを使用すると、ハイレゾ品質で再生されません。また、他の音が鳴っている場合など、使用状況によってはハイレゾ品質で再生されないことがあります。ハイレゾ品質で再生中はステータスバーにHRが表示されます。
- MIDI形式および着信音用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P160
- メディアプレイヤーの操作方法などを確認するには、ホーム画面で→［メディアプレイヤー］→→［ヘルプ］をタップしてご覧ください。

◆ 音楽／動画の再生

1 ホーム画面で→［メディアプレイヤー］

- メディアプレイヤーの説明画面が表示された場合は、［使い方の説明を見る］または［使ってみる］をタップします。

2 ［全曲］／［アーティスト］／［アルバム］／［ムービー］／［プレイリスト］／［着うた］

一覧画面が表示されます。

3 音楽／動画を選択

再生画面が表示されます。

- ［アーティスト］／［アルバム］を選択した場合は、再生する音楽／動画が表示されるまでアーティスト名／アルバムなどを選択します。

■ 再生画面について

音楽再生画面

① **一覧画面の表示**

② **再生位置**
- ●を左右にドラッグして再生位置を変更します。

③ **アルバムアートワーク**

④ **音量調節**※
- ●を左右にドラッグして音量を調節します。

⑤ **リピート（音楽再生画面のみ）**
- タップするたびに、リピートオフ（🔁）→全曲リピート（🔁）→1曲リピート（🔂）を切り替えます。

⑥ **SNS共有**※
LINE、Twitter、Facebookで楽曲情報を共有できます。

⑦ **再生の操作**
⏸／▶：一時停止／再生
⏮／⏭：前のファイル／次のファイルを再生
- 操作状態によっては、ファイルの先頭に戻ります。

⏪／⏩：10秒早戻し／10秒早送り

⑧ **検索**
dマーケットで音楽／動画ファイルを検索します。

⑨ **サブメニューの表示**
設定、ヘルプ、初めての方へ、アプリ終了などの操作ができます。

⑩ **シャッフルのオン／オフ（音楽再生画面のみ）**

⑪ **アルバム情報表示**※

※ アルバムアートワークをタップすると表示されます。

✔お知らせ

- 動画再生画面で／をタップして画面回転ロックの設定／解除をします。
- 動画再生画面／動画一覧画面で→［はい］をタップしてMiracast設定画面を表示します。→P165
- 音楽／動画を削除するには、一覧画面で音楽／動画をロングタッチ→［コンテンツを削除する］→［OK］→［OK］をタップします。

◆ dマーケットからの購入

1 ホーム画面で→［メディアプレイヤー］

2 →［dミュージック］／［dTV］／［dアニメストア］

◆ プレイリストの利用

プレイリストに曲を登録して、お気に入りの曲だけを再生することができます。

1 **ホーム画面で→[メディアプレイヤー]→[プレイリスト]**

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 **[リスト作成]→プレイリスト名を入力→[OK]**

3 **リストに追加する曲を選択→[決定]**

- ［全曲］／［アーティスト］／［アルバム］をタップして、表示を切り替えられます。
- ［全曲］→［すべての曲を追加］をタップすると、すべての曲を選択できます。

4 **[完了]→[OK]**

- プレイリストから曲を削除するには、削除する曲を選択→［選択した曲を削除］をタップします。
- 曲の再生順を変更するには、移動する曲のを上下にドラッグします。

✔お知らせ

- プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→曲を選択すると再生できます。
- プレイリストを並べ替えるには、プレイリスト一覧画面で［リスト並替え／削除］→移動するプレイリストのを上下にドラッグ→［完了］→［OK］をタップします。
- プレイリストを削除するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ→［プレイリストを削除する］→［OK］をタップします。
- プレイリストを編集するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→［編集］をタップします。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P29）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

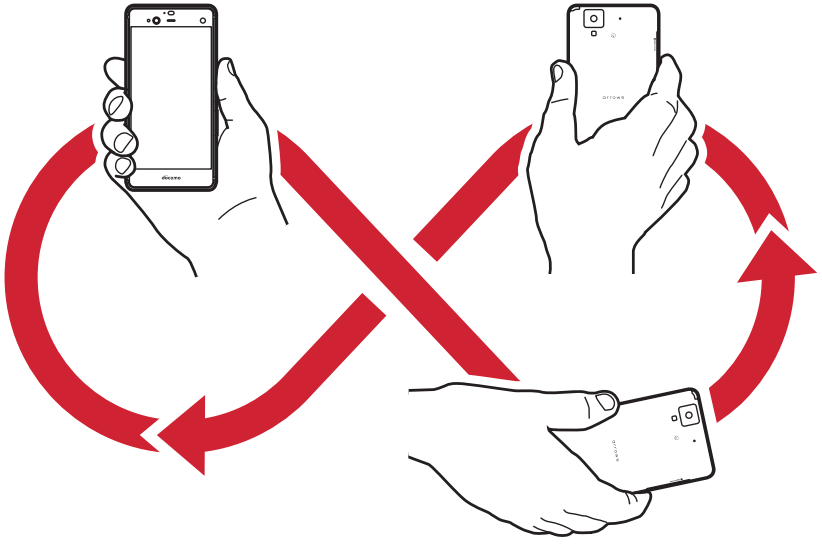
本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように、約10秒本端末を動かします。



◆ 位置情報・GPSの設定

位置情報・GPSの使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[位置情報・GPS]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報・GPS]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

4 [モード]→モードを選択

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Googleマップ

Googleマップ™で現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ［位置情報・GPS］をONにしてください。→P108
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google]→[マップ]

- Googleマップの操作については、画面の左端を右にフリックして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で［ドコモクラウド］→［スケジュール］

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、［クラウドサービスを設定する］または［後で設定する］をタップします。

◆ スケジュールの登録

1 カレンダー画面で［新規作成］

2 各項目を設定→［保存］

スケジュールが登録されます。

❖ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 カレンダー画面でスケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集：［編集］→スケジュールを編集→［保存］

スケジュールの削除：→［1件削除］→［削除する］

■ カレンダー画面での主な操作

表示の切り替え：［表示切替］→表示単位を選択

検索条件の選択：［表示条件］→検索条件を選択

日付の移動：［日付移動］→日付を選択→［移動］

- ［今日］をタップすると今日の日付に移動します。

ヘルプの表示：→［ヘルプ］

- をタップすると、［メモ一覧へ］などのさまざまな操作ができます。

時計

アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ、世界時計が利用できます。

◆ 時計を表示

1 **ホーム画面で→[時計]**
時間が表示されます。

✔お知らせ
- 時計画面に世界時計を表示する場合は、時計画面で→都市にチェックを付けます。
- 時計画面でをタップすると、「夜間モード」や時計の設定ができます。

◆ アラームの利用

1 **ホーム画面で→[時計]**

2
アラーム画面が表示されます。

3 **→時刻を設定→[OK]**

4 **各項目を設定**
繰り返し：繰り返しを設定します。
: アラーム音を設定します。
バイブレーション：バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル：ラベルを入力します。

✔お知らせ
- アラーム画面で→［設定］をタップすると、時計の設定ができます。

◆ タイマーの利用

1 **ホーム画面で→[時計]**

2

3 **時間を入力→**

4 **カウントダウンが終了したら**
カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に
- カウントダウンを再開する場合はをタップします。

カウントダウンをリセット：カウントダウン停止中に

タイマーを削除：
タイマーを追加：→時間を入力→
- タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：[＋1']
- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ ストップウォッチの利用

1 **ホーム画面で→[時計]**

2

3
計測が開始されます。

ラップを追加：
計測を一時停止：計測中に
- 計測を再開する場合はをタップします。

計測をリセット：計測停止中に
計測結果を共有：計測停止中に

電卓

1 ホーム画面で→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：[DEL]
数式や計算結果をすべて消去：[DEL]（ロングタッチ）／[CLR]
関数パッドを表示：パッドの右端を左にスライド
- 本端末を横向きにしても関数パッドを表示できます。

✔お知らせ

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリまたは「音声検索」アプリを利用して検索します。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google Now™を利用して、今いる場所に関連する情報（天気や交通状況など）を確認することもできます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]
- 初回起動時はGoogle Now使用の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。
- 文字を入力してをタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で→[音声検索]→送話口／マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✔お知らせ

- Google検索とGoogle Nowの詳細については、Google検索画面の左端を右にフリック→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご確認ください。
- ホームアプリが「NX!ホーム」に設定されている場合は、アプリ一覧画面でをタップすると手書きで検索できます。手書き検索の検索対象の設定は次のとおりです。
  手書き検索画面で［設定］→検索対象にチェック
  - 特定の検索サイトを選択して検索できる［ウルトラ統合検索］を手書き検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面で「ウルトラ統合検索」ウィジェットを一度起動してからご利用いただけます。
  - ［手書き検索設定］の設定によっては、半角英数字の検索対象は検索結果に表示されない場合があります。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。
機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

◆ データ移行

インターネットを使用しない１対１のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
ピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、２台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で→［データコピー］→［データ移行］

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードを利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除される ことがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

❖バックアップ

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[バックアップ＆復元]

2 [バックアップ]→バックアップするデータにチェックマークを付ける→[バックアップ開始]→[開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

3 [トップへ戻る]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復 元します。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[バックアップ＆復元]

2 [復元]→復元するデータ種別を[選択]→復元するデータにチェックマークを付ける→[選択]

3 復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]

- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 選択したデータが本端末に復元されます。

4 [トップへ戻る]

❖電話帳をドコモのアカウントにコピー

Googleアカウントの電話帳をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[バックアップ＆復元]

2 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]／[追加]

- コピーしたアカウントがdocomoのアカウントに保存されます。

3 [OK]

◆データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴・音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

1 ホーム画面で→[データコピー]→⋮→[データ保管BOXへのバックアップ･復元]

2 [バックアップ]または[復元]

- 画面の指示に従って操作してください。
- ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で→［設定］をタップして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー	参照
音・バイブ・LED	P115
壁紙・画面	P118
電池	P120
Wi-Fi・Bluetooth	P121、P155、P165
データ通信・機内モード	P125、P167
ロック・セキュリティ	P130
Google	P139
言語・文字・入力	P140
便利機能	P141
ドコモのサービス／クラウド	P145
プロフィール	P145
端末管理	P146、P160

音・バイブ・LED

音量や着信音などの設定を行います。

1 ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］

2 各項目を設定

音量：設定方法→P116
マナーモード：設定方法→P116
着信音：電話着信音を設定します。
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

通知音：通知音を設定します。
ふせたらサウンドオフ：本端末を裏返すことにより、一時的に着信音やアラームなどの音を停止するかを設定します。ただし、アプリによっては停止しない場合があります。
- バイブレーションを設定している場合は、一時的に振動も停止します。

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。
- チェックを外している場合でも、着信音量を0に設定しているときはバイブレーションが鳴動します。

充電開始音：充電開始時に音でお知らせするかを設定します。
通知を非表示：設定方法→P116
光を点滅させて通知：新着SMSや不在着信などをお知らせLEDの点滅でお知らせするかを設定します。
アプリの通知：各アプリからの通知を表示するかを設定します。

通知へのアクセス：通知にアクセスできるアプリに対して、アクセスを許可するかを設定します。
［通知を非表示］へのアクセス：［通知を非表示］の設定により、通知されなかった通知内容にアクセスするアプリを管理します。
タッチ操作バイブ：タッチ操作が認識されていることを振動でお知らせするかを設定します。
タッチ操作音：メニューを選択したときに音を鳴らすかを設定します。
ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
画面ロックの音：画面ロックがかかったときや画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。
- セキュリティ解除方法を［なし］以外に設定している場合のみ有効です（→P133）。

Dolby Audio：設定方法→P117

◆音量

メディア再生音、アラーム、着信音の音量を調節できます。
- マナーモード中は設定できません。

1 ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］→［音量］

2 スライダーをスライドして音量を調節

✔お知らせ
- ［着信音の音量］を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、サイレントマナーなどに設定してください。

❖通知を非表示

「通知を非表示」を「優先する通知のみ」に設定したときの通知に関する設定をしたり、自動ルールを設定したりします。

1 ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］→［通知を非表示］

2 ［優先する通知のみを許可］および「自動ルール」で、通知を行う機能や日時を設定する

✔お知らせ
- ［通知を非表示］をONにするには、通知パネルを開く→パネルスイッチの［通知を非表示］→［サイレント］／［アラームのみ］／［優先する通知のみ］→［ユーザーがOFFにするまで］または時間を設定→［完了］をタップします。

◆マナーモード

マナーモードを設定／解除します。
- マナーモードの種類は変更できます。→P117

1 ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］→［マナーモード］

2 ［マナーモード］をONにする
- マナーモードを設定すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P46

✔お知らせ

- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
  - 音量キーの下を1秒以上押す→［OK］
  - 通知パネルを開く→パネルスイッチで［マナー］
  - 携帯電話オプションメニューが表示されるまでを押し続ける→［通常マナー］→［OK］

  ※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］をタップします。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音が鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 **ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］→［マナーモード］→［マナーモード選択］**

2 **項目を選択**

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。また、バイブレーションがONになります。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

◆Dolby Audio

動画や音楽などの再生にDolby Audioを使用するかを設定します。

1 **ホーム画面で→［設定］→［音・バイブ・LED］→［Dolby Audio］**

- Dolby Audio設定画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 **各項目を設定**

- をタップするたびにDolby AudioのON／OFFが切り替わります。ONになると、ステータスバーにが表示されます。
- Dolby Audioを使用しているときと使用していないときのコンテンツの違いを聴く場合は、［Play Demo］をタップします。
- ［Movie］／［Music］／［Game］／［Voice］／［Custom 1］／［Custom 2］をタップすると、プロファイルが切り替わります。選択しているプロファイルを再度タップすると、プロファイルの設定画面が表示されます。
- プロファイルの設定画面でをタップすると、選択しているプロファイルをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

✔お知らせ

- 通知パネルを開く→パネルスイッチの［Dolby Audio］をタップしても、Dolby AudioのON／OFFを設定できます。
- Dolby Audioを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。
- ハイレゾ音源をイヤホンから再生する場合、Dolby Audioの効果は無効となります。

壁紙・画面

画面の明るさや画面の自動回転などの設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]

2 各項目を設定

ホーム壁紙：設定方法→P53
ロック画面壁紙：設定方法→P118
ホーム画面切替：設定方法→P51
詳細カスタマイズ：設定方法→P50
明るさのレベル：設定方法→P118
明るさの自動調節：[明るさのレベル] で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。
画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

タッチでON：設定方法→P119
タッチでOFF：ロック画面または通知パネルの通知表示をタップしてスリープモードにできるように設定します。
画面消灯時間：設定方法→P119
ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。
動画補正：動画（ワンセグやYouTubeなど）の画質補正をするかを設定します。
- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も再生時に画質補正されます。
- 動画によっては画質補正されない場合もあります。

静止画補正：静止画の画質補正をするかを設定します。
スクリーンセーバー：設定方法→P119

◆ ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[ロック画面壁紙]

2 [設定なし（ホーム壁紙）]／[画像を選択]／[壁紙]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[明るさのレベル]

2 スライダーをスライドして明るさを調整

◆ タッチでON

画面をダブルタップしてスリープモードの解除／設定ができるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]

2 [タッチでON]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 手袋タッチ機能（→P143）をONに設定している場合でも、手袋をはめた手ではタッチでON機能を利用することはできません。
- 「タッチでON」をONに設定するとOFFの状態よりも電池の消費が多くなります。

◆ 画面消灯時間

❖スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[画面消灯時間]

2 [スリープ]→時間を選択

❖持ってる間ON

本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[画面消灯時間]

2 [持ってる間ON]にチェック／チェックを外す

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[壁紙・画面]→[スクリーンセーバー]

2 画面右上のボタンをタップして[スクリーンセーバー]をONにする

3 アプリを選択→→各項目を設定

- ［メニュー］→［今すぐ起動］をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

電池

電池残量の確認などを行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]

2 各項目を設定

バッテリーセーバー：設定方法→P120
電池の使用量：電池残量、電池使用可能な残り時間、使用中のアプリを表示します。

◆バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動／停止します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーとナビゲーションバーがオレンジ色に変わり、ステータスバーに+が表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]→[バッテリーセーバー]

2 画面右上のボタンをタップして[バッテリーセーバー]をONにする

- ［自動的にON］→［使用しない］／［電池残量が5%］／［電池残量が15%］をタップして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。

◆電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]→[電池の使用量]

2 [メニュー]→[電池の最適化]

3 [最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]

4 設定を変更するアプリを選択→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］

2 ［Wi-Fi］をONにする

3 ［かんたん接続／ネットワーク選択］→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fiの詳細設定の［auto-IP］にチェックを付けている場合、アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても同様のメッセージが表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない可能性があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［dアカウント設定］をタップして操作してください。

- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択し、［接続］をタップしてください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
  ※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。

◆ Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［かんたん接続／ネットワーク選択］

2 ［メニュー］→［更新］

◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。
- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［かんたん接続／ネットワーク選択］

2 ［メニュー］→［ネットワークを追加］

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→［保存］

◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［かんたん接続／ネットワーク選択］

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→［削除］

◆ Wi-Fiネットワークのかんたん接続

AOSS™方式、WPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。
- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［かんたん接続／ネットワーク選択］

2 ［かんたん接続］

3 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→［AOSS］ボタンをタップ→アクセスポイント側で操作→接続完了画面で［完了］

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式（8桁）］／［PIN入力方式（4桁）］→アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力します。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式、手動のいずれかで接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。

◆ Wi-FiオートON／OFF

モバイルネットワーク基地局の情報を用いて、自動でWi-Fi機能をON／OFFします。
Wi-Fi接続したことのあるエリアを検出したときに自動でWi-Fi機能をON、Wi-Fi接続したことのないエリアを検出したときに自動でWi-Fi機能をOFFにするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]→[Wi-Fi詳細設定]→[Wi-Fiオート ON／OFF]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 本機能をONにした状態で連続して2分間以上同じアクセスポイントに接続したエリアが、Wi-Fi接続したことのあるエリアとして検出されます。
- 本機能は、機内モードがONまたはWi-Fiテザリングが ONの場合、動作しません。
- 本機能は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。

◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリをPlayストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]→[Wi-Fi詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、[デバイスの検索] をタップします。

2 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→ [OK]

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、[同意する] をタップしてください。

◆マルチコネクション

インターネット接続を快適に行うために、Wi-Fiネットワークとパケット通信（LTE／3G）を同時に利用するかを設定します。マルチコネクションをONにすると、動画や音楽などさまざまなコンテンツのダウンロードやストリーミングを高速通信で楽しめるようになります（高速ダウンロード／高速ストリーミング）。

- あらかじめWi-FiをONにしてWi-Fiネットワークに接続してください。→P121
- マルチコネクションは、パケット通信（LTE／3G）も利用するため、パケット通信料がかかる場合があります。パケット通信を利用したくない場合は、マルチコネクションをOFFにしてください。
- アプリによっては、マルチコネクションを利用できない場合があります。
- Wi-Fiネットワークによっては、高速通信にならない場合があります。

1 **ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［マルチコネクション］**

2 **［マルチコネクション］をONにする**

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

3 **各項目を設定**

- ［モード選択］をタップすると、マルチコネクションの通信モードを選択できます。
- ［よく使うアクセスポイント］にWi-Fiネットワークを登録すると、登録したWi-Fiネットワークに接続している場合はWi-Fiを優先的に使用します。

❖マルチコネクション対応のアプリについて

［アプリケーション選択］をタップして表示されるアプリがマルチコネクションの対象です。

✔お知らせ

- ［アプリケーション選択］で起動中のアプリを選択した場合、設定が有効になるまで時間がかかることがあります。すぐに設定を有効にしたい場合は、選択したアプリを終了してから再度起動してください。
- 接続するネットワークを判別するサイト（dメニュー→「My docomo（お客様サポート）」内の項目など）では、Wi-Fiご利用時に一部の機能が制限される場合があります。その際は、Wi-FiをOFFにしてご利用ください。また、マルチコネクションに非対応のサイトでは、動画のストリーミング再生など一部閲覧できない場合があります。その際は、マルチコネクションをOFFにしてご利用ください。
- 次の場合は、マルチコネクションを利用できません。
  - 機内モード中
  - 国際ローミング中
  - テザリング中
  - VPN接続中
  - Wi-Fi Direct／Miracast接続中
- ［よく使うアクセスポイント］に登録したWi-Fiネットワークが不安定になったとき、Wi-Fiのみに通信を制限する一部のアプリにおいて、一時的にパケット通信（LTE／3G）を行う場合があります。
- マルチコネクションをOFFにすると、高速ダウンロード／高速ストリーミング機能もOFFになります。
- ご契約の料金プランでご利用になれるデータ量を超過し、通信速度の制限を受けている状態では、マルチコネクションは動作しなくなります。

◆ 画面消灯時のWi-Fi動作

本端末の画面が消灯したときや充電しているときにWi-Fiを切断するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]→[Wi-Fi詳細設定]

2 [画面消灯時のWi-Fi動作]→項目を選択

◆ Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]→[Wi-Fi詳細設定]

2 各項目を設定

Wi-FiオートON／OFF：設定方法→P123
画面／音楽のキャスト：設定方法→P165
画面消灯時のWi-Fi動作：設定方法→P125
ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。
- Wi-FiがOFFの場合は設定できません。

Wi-Fi接続不良のとき無効にする：Wi-Fiネットワークが不安定なとき、Wi-Fiネットワークを使用しないようにするかを設定します。
Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。
証明書のインストール：証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct：設定方法→P123
Wi-Fi最適化：Wi-FiがONのとき、消費電力を抑えるようにするかを設定します。
MACアドレス：MACアドレスが表示されます。
IPアドレス：IPアドレスが表示されます。
auto-IP：auto-IP機能を有効にするかを設定します。
- Wi-FiがONの場合は設定できません。

Passpoint：Wi-FiがONのとき、利用可能なPasspoint対応アクセスポイントに自動的に接続するかを設定します。

データ通信・機内モード

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[データ使用]

2 [モバイルデータ]をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- [モバイルデータの制限を設定する] をONにすると、使用量の制限を設定できます。
- [メニュー] → [バックグラウンドデータを制限する] → [OK] をタップすると、バックグラウンドデータを制限することができます。

✔お知らせ

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量は「My docomo」で確認できます。

- ［モバイルデータの制限を設定する］をONに設定している場合、データ使用量が指定の上限に達したときは、データ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。データ通信を再開するには［再開］をタップします。

◆ パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で→［設定］→［データ通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］

2 ［データ通信を有効にする］をOFFにする

3 内容を確認して［OK］

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/
mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P128

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で→［設定］→［データ通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］

❖アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で→［設定］→［データ通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］

2 ［＋］

3 ［名前］→ネットワークプロファイル名を入力→［OK］

4 ［APN］→アクセスポイント名を入力→［OK］

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→［メニュー］→［保存］

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、お買い上げ時の設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 [メニュー]→[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントをタップ→アクセスポイントの編集画面で［メニュー］→［APNを削除］をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめセキュリティ解除方法のパターン、暗証番号、パスワード、虹彩認証のいずれかを設定してください。→P133

❖VPNの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[VPN]

2 [＋]→各項目を設定→[保存]

❖VPNへの接続

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[VPN]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

❖VPNの切断

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[VPN]

2 切断するVPNを選択

3 [切断]

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。

❖USBテザリング

本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 通知パネルを開く→USBオプションの通知をタップ

3 [USBテザリング]→[USBテザリング]をONにする

✔お知らせ

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]をONにする

- Wi-Fiアクセスポイントの設定画面が表示された場合は、必要に応じて設定を変更して［保存］をタップします。→P128

❖Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時の状態では、ネットワーク名には［FJDEV048_AP］が、セキュリティには［WPA2 PSK AES］が、［パスワード］にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]→[Wi-Fiアクセスポイント]

2 ネットワーク名を入力→セキュリティを選択→パスワードを入力→[保存]

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定できます。

❖Wi-Fiテザリングかんたん接続

WPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。
- あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリングかんたん接続]

2 [プッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→各種操作→登録画面で[OK]
- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、[OK] をタップします。

❖Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。
- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→P156

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]をONにする

✔お知らせ
- 本端末は、DUNプロファイルを使ったダイヤルアップ接続に対応しております。→P156
  Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

◆機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、Miracast、テザリング、Bluetooth機能、FMトランスミッタ）が無効になります。ただし、Wi-Fi、Miracast、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]

2 [機内モード]をONにする

✔お知らせ
- を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

ロック・セキュリティ

ロックに関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]

2 各項目を設定

セキュリティ解除方法：設定方法→P133
パターンの変更※1：パターンを変更します。
暗証番号の変更※1：暗証番号を変更します。
パスワードの変更※1：パスワードを変更します。
虹彩登録：設定方法→P134
パターンを表示する※1：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。
自動ロック※1：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。
電源ボタンですぐにロックする※1：を押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。
スライドでカメラ起動※2：ロック画面の右端から左にフリックしてカメラを起動するかを設定します。
ロック画面メッセージ※1：ロック画面に表示するメッセージを入力します。
通知の表示方法：ロック画面にすべての通知を表示するかを設定します。
Smart Lock※1：設定方法→P136
パーソナルノート：設定方法→P136
パスワードを表示する：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。

情報セキュリティ：次の設定を行うことができます。
ストレージのタイプ：設定方法→P137
信頼できる認証情報：設定方法→P137
証明書のインストール：設定方法→P137
認証ストレージの消去：設定方法→P137
最近使ったアプリを表示しない：設定方法→P137
端末管理アプリ：端末管理機能を有効にするかを設定します。
提供元不明のアプリ：設定方法→P137
SIMカードロック設定※3：設定方法→P138
信頼できるエージェント：Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。
利用アプリの固定：設定方法→P139
使用履歴にアクセスできるアプリ：端末上のアプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを管理します。
スマートフォンの暗号化：内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- 本端末では［スマートフォンの暗号化］の設定を変更することはできません。

※1 セキュリティ解除方法により表示される項目は異なります。
※2 ホームアプリおよびセキュリティ解除方法の設定により表示されない場合があります。
※3 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。
本端末で利用できる主なネットワークサービスのアカウントに必要な暗証番号／パスワードは次のとおりです。

- ネットワーク暗証番号→P132
- ドコモアプリパスワード→P145
- dアカウントパスワード
  dアカウント（→P145）のパスワードです。ネットワーク暗証番号、またはお客様が任意に設定した英数字となります。
- Googleアカウントパスワード
  Googleアカウント（→P149）のパスワードです。アカウント登録時にお客様が任意に設定した英数字となります。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/

❖PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P138
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]**

2 **認証操作**

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 **項目を選択**

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
タッチ／スワイプ：タッチ／スワイプでロックを解除するように設定します。
虹彩認証：設定方法→P134
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロックを解除するように設定します。
暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。
パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

✔お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、パターン、暗証番号、パスワード、虹彩認証のいずれかになります。

❖画面ロックをかける

セキュリティの解除方法を設定（→P133）した後に、を押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから［自動ロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、を押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✔お知らせ

- Googleアカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。
  https://www.google.com/android/devicemanager
  - 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
  - Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖解除方法を忘れたときは

- 画面ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→P62
- セキュリティの解除方法にパターン／暗証番号／パスワードを設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。

◆ 虹彩認証機能

本端末は、あらかじめ登録した所有者の虹彩情報でセキュリティの認証を行う虹彩認証機能を搭載しています。

❖ 虹彩認証用カメラおよびLED利用時の留意事項

虹彩認証用カメラおよびLED利用時の留意事項は次のとおりです。

- 虹彩認証用LED点灯中に端末と目の距離を20cm以内に近づけないでください。
- 虹彩認証用カメラ表面は防水性を有していますが、虹彩認証用カメラ表面に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。虹彩の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。現象が改善されることがあります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - 引っかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、虹彩認証用カメラ表面に傷が入る
  - 泥などで虹彩認証用カメラやLED表面に傷が入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、虹彩の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりするなどして使用できないことがあります。虹彩認証用カメラやLEDおよび近接センサーの周囲（本端末前面の上部）は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露

❖ 虹彩登録時の留意事項

虹彩登録時の留意事項は次のとおりです。

- メガネを着用している方はメガネを外して登録してください（認証時はメガネを着用しても利用できます）。
- サングラスやカラーコンタクト、サークルレンズは外して登録してください。
- 日の当たらない室内で登録してください。
- 登録に時間がかかる場合は、読み取りの精度を上げるため目を大きく開いてください。
- 端末を真正面に持って目の高さまで上げてください。
- 端末と目の距離は25cm程度離してください。
- 虹彩認証用カメラに汚れや破損がないことを確認してください。→P134
- 虹彩登録は片眼でも可能ですが、高い認証率を確保するため両眼での登録をおすすめします。
- 認証時の精度向上のために虹彩の登録を追加することが可能です。ただし、複数の人の虹彩を追加登録することは本人の認証ができなくなる場合があるため控えてください。また精度向上にも限度があるため追加登録を行ってもそれ以上の効果は望めない場合があります。
- 虹彩認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖虹彩認証時の留意事項

虹彩認証時の留意事項は次のとおりです。

- 認証性能はお客様の使用状況により異なります。次のような場合は、虹彩の認証が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。
  - サングラスやカラーコンタクト、サークルレンズを着用している
  - 目が重度に腫れているなどで、虹彩が隠れている
  - 直射日光や反射光が目や端末に当たっている
  - 水中
  - 端末や人体が激しく揺れている
  - 端末を斜めや逆さに向けている
  - 虹彩認証用カメラやLEDに汚れや破損などがある（→P134）
- 認証に時間がかかる場合は、認証の精度を上げるため目を大きく開いてください。
- 端末と目の距離は20～30cm程度離してください。
- メガネのレンズに光が反射していると虹彩を検出できない場合があります。その場合は顔を傾けるなどしてレンズの反射を抑えてください。
- 本端末を他の人が持っている場合でも、自分に端末が向けられた場合は認証されることがありますのでご注意ください。

❖虹彩登録

虹彩を登録します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[虹彩登録]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

2 [登録をはじめる]→画面の指示に従って虹彩を登録

- 片眼で登録する場合は［片眼で登録する方はこちらへ］から登録してください。

❖虹彩認証の操作

1 ロック画面で虹彩認証操作を行う

- 正しく認証されない場合は、虹彩登録時に登録した予備のセキュリティ解除方法（パターン／暗証番号／パスワード）で認証操作を行ってください。

❖虹彩認証の設定

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[虹彩管理]**

2 **各項目を設定**

セキュリティ解除方法で虹彩を利用する：予備のセキュリティ解除方法を変更します。
併用のパターン／暗証番号／パスワードの変更：予備のセキュリティ解除方法として設定したパターン／暗証番号／パスワードを変更します。
虹彩認証の精度を向上：虹彩認証の精度の向上のため、虹彩を追加登録します。
虹彩データを削除：虹彩データを削除します。
虹彩のファインダーを表示する：虹彩認証画面にファインダーを表示するかを設定します。
虹彩認証のヒント：虹彩認証時のヒントを表示します。
虹彩使いこなしサイトへ：虹彩認証の使いかたが掲載されているサイトを表示します。

◆Smart Lock

外部機器からの接続時や顔認証などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P133
- セキュリティ解除方法を虹彩認証に設定している場合は、トラステッドフェイス（顔認証）の利用はできません。

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[Smart Lock]→認証操作**

2 **各項目を設定**

- Smart Lockの詳細については、→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

◆パーソナルノート

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→P38

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P133
- 最大100件登録できます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[パーソナルノート]→認証操作**

2 **[新規登録]→各項目を設定→[完了]**

編集：タイトルをタップ→各項目を編集→［完了］
削除：タイトルをロングタッチ→画面下部の までドラッグ→［OK］
並び替え：タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ
バックアップ／リストア：[メニュー］→［バックアップ／リストア］→項目を選択→画面の指示に従って操作
全件削除：[メニュー］→［全件削除］→［OK］

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖認証情報ストレージのタイプの表示

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [ストレージのタイプ]を確認

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

✔お知らせ

- インストールした証明書を削除する場合は、[認証ストレージの消去] から削除してください。

❖認証情報や証明書のインストール

認証情報や証明書をインストールします。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[証明書のインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [認証ストレージの消去]→[OK]

◆最近使ったアプリの表示／非表示

■(履歴) をタップしたときに、最近使ったアプリを表示するかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [最近使ったアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認して[OK]

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロック設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で［SIMカードをロック］をOFFにします。

❖PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］をONにする）しておく必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合（PUKロック）は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コード(PUK)を入力→

2 新しいPINコードを入力→

3 もう一度新しいPINコードを入力→

◆利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

1 **ホーム画面で→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[利用アプリの固定]**

2 **画面右上のボタンをタップして[利用アプリの固定]をONにする**

3 **固定したいアプリを起動**

4 **(履歴)→固定したいアプリの→[はい]**

- アプリの固定を解除するには、(バック)と(履歴)を同時にロングタッチします。

✔お知らせ

- 操作2で［「利用アプリの固定」機能を解除するときに端末をロックする］をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティの解除操作が必要になるように設定できます。
  設定している解除方法によって表示が異なる場合があります。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、Google画面で→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

1 **ホーム画面で→[設定]→[Google]**

Google画面が表示されます。

2 **各項目を設定**

言語・文字・入力

本端末で使用する言語を変更したり、表示フォントや文字の大きさを変更したりします。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]**

2 **各項目を設定**

言語：設定方法→P140
スペルチェック：スペルチェックを行うかを設定します。
フォント：設定方法→P140
フォントサイズ：文字の大きさを変更します。
はっきり文字：大きく見やすい文字で表示するかを設定します。
現在のキーボード：設定方法→P40
Googleキーボード：Googleキーボードの設定をします。
Super ATOK ULTIAS：設定方法→P40
ドコモ文字編集：ドコモ文字編集アプリの詳細を確認します。
Google音声入力：設定方法→P141
テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。
ポインタの速度：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[言語]**

2 **[English]**

✔お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で→［Settings］→［Language/Text/Input］→［Language］→［日本語］

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[フォント]**

2 **フォントを選択→[OK]**

✔お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[言語・文字・入力]→[Google音声入力]**

2 **各項目を設定**

言語：Google音声検索時に使用する言語を設定します。
「OK Google」の検出：「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。
ハンズフリー：端末をロックした状態で、ハンズフリー機器からのリクエストを許可するかを設定します。
音声出力：音声出力について設定します。
オフラインの音声認識：言語を追加でダウンロードして、オフライン状態でも音声認識を使えるように設定します。
不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかを設定します。
Bluetoothヘッドセット：Bluetooth機器を使用して音声検索を行うかを設定します。

便利機能

FMトランスミッタやスライドディスプレイなどの設定を行います。

1 **ホーム画面で→[設定]→[便利機能]**

2 **各項目を設定**

位置情報・GPS：設定方法→P108
電話：設定方法→P69
NFC／おサイフケータイ 設定：設定方法→P86、P158
パーソナルアシスト：設定方法→P142
FMトランスミッタ：設定方法→P142
手袋タッチ：設定方法→P143
スライドイン機能：設定方法→P143
ナビゲーションバー：設定方法→P143
歩数計：設定方法→P144
電源ボタンを2回押してカメラを起動：電源キーを2回押すとカメラが起動するように設定します。
イヤホンランチャー：イヤホン接続時に、ランチャーを表示してアプリを起動できるように設定します。
- ［ランチャー設定］でランチャーに表示するアプリを設定します。

◆ パーソナルアシスト

場所や時間、曜日などの情報をもとに本端末の使用状況を学習することで、ユーザーが使いやすいようにアプリの候補を表示させる機能を設定します。

- パーソナルアシストをONにすると、本端末の使用状況の学習が開始されます。学習が完了すると、ホーム画面にパーソナルアシストが表示されるようになります。なお、学習が完了するまでに数日かかる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[パーソナルアシスト]

2 [パーソナルアシスト]をONにする

- [機能説明] をタップすると、パーソナルアシストの詳しい説明や使いかたを確認できます。

3 画面の指示に従って操作→[利用開始]

✔お知らせ

- パーソナルアシストをより快適に利用するには、次の設定を行ってください。現在地の精度が高まり、アシストの精度が向上します。また、Wi-Fiを利用することで、室内などGPS機能を利用できない場所でも位置を特定できます。
  - [位置情報・GPS] をONにし、モードを [高精度] に設定する→P108
  - [Wi-Fi] をONにする→P121
  - ホーム画面で→ [設定] → [便利機能] → [位置情報・GPS] → [メニュー] → [スキャン] → [Wi-Fiのスキャン] をONにする

◆ FMトランスミッタ

本端末に保存した音楽などをFM電波で送信して、FMラジオやカーステレオなどで聴くことができます。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、FMトランスミッタ機能を利用できません。
- 受信状態をよくするには、TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、本端末とFMラジオなどの距離を近づけたり、アンテナの向きを変えたりしてください。→P90

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[FMトランスミッタ]

2 [FMトランスミッタ]をONにする→[OK]

3 [周波数選択]→周波数を選択

4 受信機器側で周波数を合わせる

✔お知らせ

- 本端末が次の状態の場合は、FMトランスミッタをONにできません。また、FMトランスミッタがONのときに次の状態になった場合、FMトランスミッタは自動的にOFFになります。
  - 機内モード中、Bluetooth機能ON、イヤホン接続中、Miracast出力中、国際ローミング中
  - 電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態のとき
- 電話着信中・音声通話中はFMトランスミッタをONにできません。また、FMトランスミッタがONのとき、電話着信・音声通話は可能ですが、FMトランスミッタによる音声出力ができなくなります。

◆手袋タッチ

手袋をしていてもタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]

2 [手袋タッチ]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- [手袋タッチ] にチェックを付けた状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。

◆スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[スライドイン機能]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- [機能説明] をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたが表示されます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ナビゲーションバー

ナビゲーションバーに表示するアイコン（→P45）を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[ナビゲーションバー]

2 [アイコン選択]→[OFF]／[いつでもズーム]／[スライドディスプレイ]

3 [アイコンの表示位置]→項目を選択

◆ 歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- ［歩数計利用］をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- 身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P145

1 **ホーム画面で→［設定］→［便利機能］→［歩数計］**

2 **［歩数計利用］をONにする**

全履歴の削除：［歩数計の全履歴削除］→［実行］→［はい］

- カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

❖歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- ユーザーやゲストが利用できる機能を利用している場合、歩数計は同一に扱われます。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（虹彩認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデートの動作や通知方法などを設定します。
おすすめ使い方ヒント：操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。
ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。
- 初期値は「0000」に設定されています。

オートGPS：オートGPS機能の設定などを行います。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
遠隔初期化：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定：ドコモサービスの設定を一括して行います。
USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

プロフィール

ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[プロフィール]

2 各項目を設定

マイプロフィール：設定方法→P72
自分からだ設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報の設定を行います。

端末管理

◆ユーザー

ユーザーを追加することで、本端末を複数のユーザーで共有できます（ユーザーやゲストが利用できる機能）。

1 **ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[ユーザー]**

2 **各項目を設定**

自分（XXX）：現在使用しているユーザーです。タップするとユーザー名やアイコンを編集できます。

（ユーザー名）：登録済みのユーザー名が表示されます。タップするとユーザーを切り替えることができます。

- 所有者の使用中にユーザーの⚙をタップすると、ユーザーに電話／SMSの使用を許可するかどうかの設定と、ユーザー削除の操作ができます。

ゲスト：登録しているユーザー以外の人に本端末を貸す場合にタップします。

- 所有者の使用中にゲストの⚙をタップすると、ゲストに電話の使用を許可するかどうかの設定ができます。

ユーザーを追加：ユーザーを追加登録します。

- ユーザーを追加するごとに初期設定が必要です。画面の指示に従って設定してください。

✔お知らせ

- 所有者とゲストをあわせて最大5人のユーザーを登録できます。
- 本端末の所有者は、ユーザー名の下に［所有者］が表示されます。
- ユーザー名の表示は、本端末の初期設定時に登録した姓名により次のように異なります。
  - 姓名を両方登録、または名のみ登録している場合：名で表示
  - 姓のみ登録している場合：姓で表示
  - 初期設定時に姓名を登録していない場合：マイプロフィール（→P72）を登録するとその内容で表示
- ユーザー名を変更するには、ユーザーの使用中にユーザー名をタップ→ユーザー名を入力→［OK］をタップします。
- ユーザーの使用中にユーザーを削除するには、［メニュー］→［この端末から（ユーザー名）を削除］をタップします。
- ゲストの使用中にゲストを削除するには、［ゲストを削除］または［メニュー］→［この端末からゲストを削除］をタップします。
- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合、ロック画面から通知パネル（→P47）を開いてをタップしても、ユーザーやゲストを追加することはできません。
  ユーザーの追加を許可するには、所有者の使用中に［メニュー］→［端末のロック時にユーザーを追加］にチェックを付けてください。
- ユーザーまたはゲストの使用中は、表示される機能が異なったり、アプリや機能の利用が制限されたりします。

◆アプリケーション

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

❖本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択

❖アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[ストレージ]→[データを消去]／[キャッシュを消去]→[OK]

❖アプリの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P84
- お買い上げ時の状態でインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

❖アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- ［無効にする］を選択した場合は［無効にする］をタップします。

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

◆ メモリ

本端末にインストールされているアプリのメモリ使用状況を確認できます。

- ［アプリのメモリ使用状況］をタップすると、各アプリのメモリ使用状況を確認できます。

◆ ストレージとUSB

1 ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［ストレージとUSB］

2 各項目を設定

内部ストレージ：本端末のメモリの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を確認します。
SDカード：microSDカードの使用状況を確認します。また▲をタップすると、microSDカードの認識を解除して安全に取り外すことができます。
microSDカードを認識させるには［SDカード］→［マウント］をタップします。

❖microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［ストレージとUSB］→［SDカード］

2 ［メニュー］→［設定］→［フォーマット］

3 ［消去してフォーマット］→［完了］

◆ バックアップとリセット

1 ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［バックアップとリセット］

2 各項目を設定

データのバックアップ：アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかを設定します。
バックアップアカウント：Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元：アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかを設定します。
ネットワーク設定のリセット：ネットワーク設定をすべてリセットします。
データの初期化：設定方法→P149

❖本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P148

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[バックアップとリセット]

2 [データの初期化]→[携帯端末をリセット]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✔お知らせ

- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。
- 初期化後、表示フォントは「Noto Sans」になります。

◆アカウント

アカウントの追加や削除を行います。

❖アカウントの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：アカウントの種類を選択→アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。
- ［メニュー］→［データの自動同期］にチェックを付けると、Googleなどのオンラインサービスの情報を自動的に同期することができます。

❖アカウントの削除

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→[メニュー]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoのアカウント、FUJITSUアカウントは削除できません。

❖手動で同期を開始

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→[メニュー]→[今すぐ同期]

■ 同期の中止

1 同期中に[メニュー]→[同期をキャンセル]

◆ 日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- [日付と時刻の自動設定] ／ [タイムゾーンを自動設定]のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[日付と時刻]

2 各項目を設定

日付と時刻の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。
タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。
日付設定：日付を手動で設定します。
時刻設定：時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示：24時間表示にするかを設定します。

◆ ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 **ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[ユーザー補助]**

2 **各項目を設定**

おすすめ使い方ヒント：操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。
字幕：字幕を表示するかを設定したり、字幕の言語や文字の大きさなどを設定します。
拡大操作：画面を3回タップすると拡大／縮小するかを設定します。
大きい文字サイズ：文字を大きくするかを設定します。
高コントラストテキスト：テキストのコントラストを高くするかを設定します。
パスワードの音声出力：パスワードを音声で出力するかを設定します。
ユーザー補助のショートカット：ユーザー補助機能を起動するかを設定します。
テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。
押し続ける時間：ロングタッチを感知する時間を設定します。
色反転：色を反転させるかを設定します。
色補正：色補正機能に関する設定をします。

◆ 端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 **ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[端末情報]**

2 **項目を確認**

ソフトウェアアップデート：設定方法→P181
端末の状態：電池の状態や電池の性能、SIMカード内の情報（ネットワーク名や電話番号など）、アドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。
法的情報：オープンソースライセンスやGoogle利用規約などに関する詳細を表示します。
認証：認定および準拠マークに関する詳細を表示します。
モデル番号／Androidバージョン／Androidセキュリティパッチレベル／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
arrows movie	お買い上げ時にインストールされている動画
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Premium Photo	お買い上げ時にインストールされている静止画
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、200GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2016年11月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✔お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカードをご利用ください。

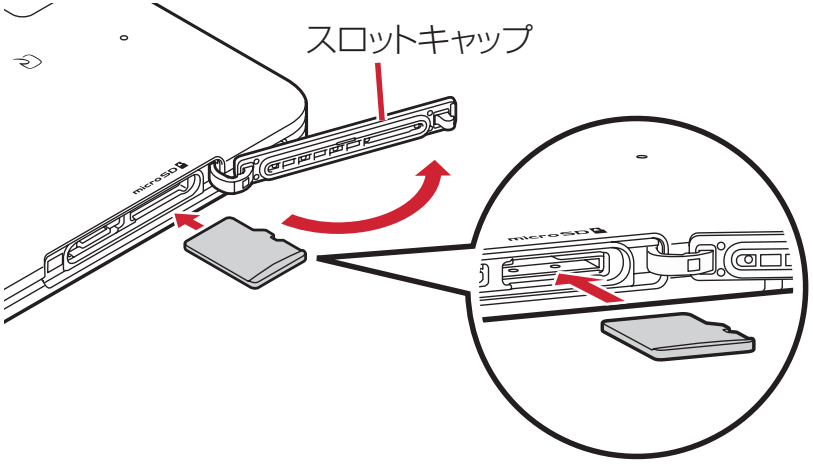
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、マウントを解除（→P148）するか電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

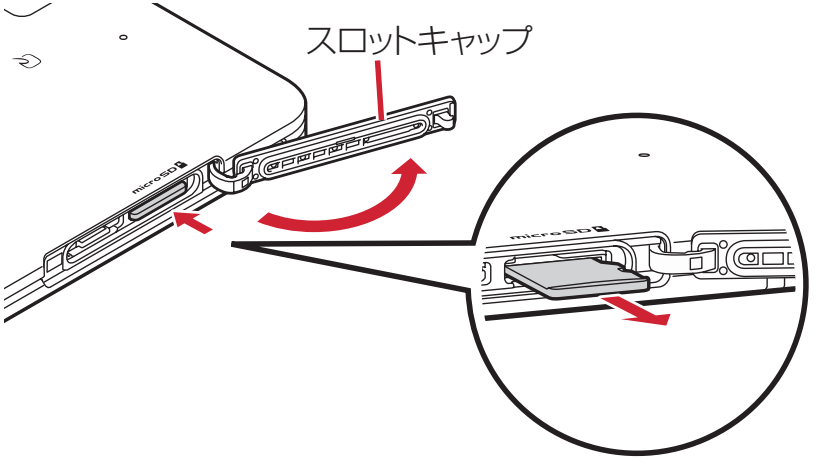
① ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P24
② 本端末のディスプレイ側を下に向けているときにmicroSDカードの金属端子面が下を向くようにmicroSDカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む



③ 本端末のスロットキャップをしっかり押して閉じる→P24

■ 取り外しかた

① ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P24
② microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



③ 本端末のスロットキャップをしっかり押して閉じる→P24

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で→[KSfilemanager]

2 フォルダ／ファイルをロングタッチ

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 画面上部の［内部ストレージ］／［SDカード］をタップすると表示するストレージの切り替えができます。［上へ］をタップすると1つ上の階層のフォルダに移動します。
- →［ヘルプ］をタップすると、ファイルマネージャーの使いかたが表示されます。
- →［新規フォルダ］をタップすると、新しいフォルダを作成できます。

3 目的の操作を選択

コピー：フォルダ／ファイルをコピーします。
切り取り：フォルダ／ファイルを切り取ります。
削除：フォルダ／ファイルを削除します。
・・・へコピー：フォルダ／ファイルを選択したフォルダにコピーします。
・・・へ移動：フォルダ／ファイルを選択したフォルダに移動します。
名前の変更：フォルダ／ファイルの名前を変更します。
ブックマークへ追加：フォルダをブックマークへ追加します。
送信：ファイル／ZIP圧縮したフォルダを送信します。
ZIP圧縮：フォルダ／ファイルをZIP圧縮します。
ZIP解凍：ZIPファイルを解凍します。
プロパティ：フォルダ／ファイルのプロパティを表示します。
キャンセル：操作メニューを閉じます。

データ通信

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P185
- フルセグ／ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]

2 [Bluetooth]をタップしてON／OFFを設定

- Qualcomm® aptX™ audioについての画面が表示されたら［OK］をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに が表示されます。
- プロファイルがHFP／HSP／DUN／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。
- Qualcomm® aptX™ audioを搭載しているBluetooth機器で、aptXオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする

3 [Bluetooth機器の検索]

- 接続するBluetooth機器が表示されない場合は、［更新］をタップします。

4 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］／［ペア設定する］をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

Scene（→P103）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉Sceneのファイルを送信する

1 Sceneを開いて画像をタップ

2 ⋮→[写真を送信]→[Bluethooth]→[縮小なし]／[画像を縮小]→[OK]

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

- 受信したファイルは、ホーム画面で⚙→［設定］→［Wi-Fi・Bluetooth］→［Bluetooth詳細設定］→［受信済みファイルを表示］をタップして確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で⚙→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→接続を解除したい機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で⚙→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→Bluetooth機器の⚙→[削除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で⚙→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth詳細設定]→[この端末の名前を変更]→機器名を入力→[名前を変更]

◆ Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 **ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi・Bluetooth]→[Bluetooth詳細設定]→[Bluetooth Low Energy]**

2 **各項目を設定**

Alert Notification：電話着信やメール受信時などに対応機器へ通知するかを設定します。
Alert Notification詳細設定：Alert NotificationがONの場合、通知する項目（電話着信、ドコモメール、Eメール、Gmail、SMS、アラーム、カレンダー）を選択できます。
Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときに通知音を鳴らすかを設定します。
Find Me通知音選択：Find Me通知音がONの場合、通知音カテゴリ一覧から通知音を選択できます。
Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。
- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。
- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がONの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔お知らせ

- マナーモード、音量の設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。
NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P87

◆ Androidビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- Androidビームを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- アプリによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

1 **ホーム画面で→[設定]→[便利機能]→[NFC／おサイフケータイ 設定]**

- パスワード設定画面が表示されたら、パスワードを設定してください。
- [NFC／おサイフケータイ ロック] にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

2 [Reader／Writer, P2P]にチェック

3 [Androidビーム]→画面右上のボタンをタップして[Androidビーム]をONにする

❖画面に表示したコンテンツの転送

対応端末間で互いの〰マークをかざすだけで、画面に表示したWebサイトやコンテンツを転送できます。

1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定

2 送信側の端末で転送するWebサイトやコンテンツを表示

3 対応端末それぞれの〰マークを重ね合わせる

- 対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。
- 送信側で共有メニューなどから操作している場合は、〰マークを重ね合わせるだけで自動的に転送が開始されます。

4 転送する画面をタップ

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送されます。

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

microUSB接続ケーブル 01（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

2 **通知パネルを開く→USBオプションの通知をタップ**

3 **USBオプションを選択**

充電：充電のみ行います。
ファイル転送：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
写真の転送（PTP）：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。
MIDI：本端末をMIDI入力に使用します。
USBテザリング：→P128

4 **目的の操作を行う**

✔お知らせ

- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［ストレージとUSB］→［SDカード］→［マウント］をタップしてからパソコンに接続します。
- ［写真の転送（PTP）］を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

プリンタとの接続

◆ クラウドプリントでプリンタを接続

Googleクラウドプリント機能で、パソコンで日常使っているプリンタを接続して、本端末で表示している静止画やブラウザのWebページなどを印刷することができます。
また、クラウド対応プリンタの場合は、パソコンなしでインターネット接続してGoogleクラウドプリントのアカウントに関連付けしたプリンタとして接続できます。

- Googleクラウドプリントを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。
- Googleクラウドプリント機能の詳細については、GoogleのホームページでGoogleクラウドプリントのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[印刷]→[クラウド プリント]

2 画面右上のボタンをタップして[クラウド プリント]をONにする

3 [OK]

あらかじめGoogleアカウントでプリンタの接続設定ができている場合は、印刷時に接続できるプリンタを含むクラウドプリントメニューが表示されます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示される設定メニューの［アカウントを追加］をタップしてGoogleアカウントを設定します。
- パソコンの印刷環境で日常使っているプリンタ、またはクラウド対応プリンタの接続設定ができていない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示されるクラウド プリント画面で［メニュー］→［プリンタを追加］をタップして接続方法を確認して接続を設定してください。

◆ Wi-Fi対応プリンタとの接続

キヤノン製とセイコーエプソン製のWi-Fi対応プリンタを検索する「Canon Print Service」と「Epson 印刷サービス プラグイン」を使って、本端末とプリンタを簡単に接続できます。その他のWi-Fi対応プリンタもPlayストアなどにGoogleクラウドプリント対応アプリがある場合は、ダウンロードして利用できます。

- あらかじめ本端末のWi-FiをONにして、Wi-Fi対応プリンタと同じアクセスポイントに接続しておきます。→P121

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[印刷]

2 [Canon Print Service]／[Epson 印刷サービス プラグイン]

3 画面右上のボタンをタップして[Canon Print Service]／[Epson 印刷サービス プラグイン]をONにする

4 [OK]

- 接続可能なプリンタを検索します。

✔お知らせ

- セイコーエプソン製／キヤノン製のWi-Fi対応プリンタについては、次のホームページでご確認ください。
〈キヤノン〉http://canon.jp/pixus
〈セイコーエプソン〉http://www.epson.jp/products/colorio/
- Wi-Fi対応プリンタ側での操作については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

◆ 印刷

1 ブラウザ画面などで[メニュー]→[印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

- クラウドプリントの場合、プリンタの代わりに［ドライブに保存］／［PDF形式で保存］を選択すると、印刷データをGoogleドライブに保存したり、PDFデータを作成したりできます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 印刷を実行

✔お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

DLNA対応機器との接続

本端末に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と接続するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P121
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

- Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 →[アプリの設定]→[DiXiM Serverの設定]

- ［DiXiM Server］の確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。

3 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がONになります。

サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更します。
アクセス権の設定：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［接続機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。
公開フォルダ設定：接続機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。
Wi-Fi設定：Wi-Fiネットワークの接続を設定します。
非表示になったメッセージ：起動したときにメッセージを表示するかを設定します。
自動終了設定：［自動終了しない］に設定したり、自動終了するまでの時間を設定したりします。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作
- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、F-01J以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 ホーム画面で→［DiXiM Player］

2 サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

3 →［アプリの設定］→［コンテンツタップ時の動作］→［別の機器で再生］

4 ［再生先機器の選択方法］→［その都度選ぶ］／［あらかじめ決めておく］
- ［その都度選ぶ］を選択した場合は、操作6に進みます。

5 ［既定の再生先機器］→再生先のDLNA対応機器を選択

6 (バック)→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択
- 操作4で［その都度選ぶ］を選択した場合は、リモート再生機器一覧から再生先を選択してください。

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

2 サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

3 →[アプリの設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]

- ［コンテンツタップ時の動作］で［別の機器で再生］を選択し、再生先の機器を選択して別のDLNA対応機器で再生することもできます。

4 (バック)→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

5 プレイヤー画面で再生

- 録画再生中にをタップして［連続再生］をONに設定すると、録画されているコンテンツをリスト順に連続して再生できます。
- プレイヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

✔お知らせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチすると、表示されるメニューからコンテンツの再生や削除、ダウンロードおよび別の機器で再生ができます。ただし、DLNA対応機器によっては著作権保護されたコンテンツがダウンロードできない場合があります。

◆ デジタル録画番組を再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

2 →[はい]

3 DLNA対応機器からアップロードを実行

- ［保存先設定］で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。→P162

4 →[持ち出し番組]→持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

その他の機器との接続

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

1 ホーム画面で→[設定]

2 [Wi-Fi・Bluetooth]→[Wi-Fi詳細設定]→[画面／音楽のキャスト]→[ワイヤレスディスプレイの有効化]にチェック

3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→［接続を解除］

✔お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/

- LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）	LTE
電話	○	○	○	○※2
SMS	○	○	○	○
メール※1	○	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P167
※2 接続する海外通信事業者によっては3G、3G850またはGSMでのご利用となります。

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネル（→P47）で電波状態のパネルスイッチをタップして表示される詳細表示で確認できます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→P67）、海外から（→P170）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P126

❖ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

1 ホーム画面で→［設定］→［データ通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］

2 ［データローミング］→注意画面の内容を確認して［OK］

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワークの検索ができない旨のメッセージが表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 滞在先で特定の通信事業者に設定した場合は、日本に帰国後、［自動的に選択］に設定してください。

❖ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で→[設定]→[データ通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [4G/3G/GSM(自動)]／[3G/GSM]／[GSM]

✔お知らせ

- 滞在先で［GSM］に設定した場合は、日本に帰国後、［4G/3G/GSM（自動）］に設定してください。

❖日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P150

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→＋（「0」をロングタッチ）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で→⋮→[通話設定]→[海外設定]**

2 **各項目を設定**

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知：渡航中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
国際ダイヤルアシスト：設定方法→P170
ネットワークサービス：設定方法→P170

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

1 **ホーム画面で→⋮→[通話設定]→[海外設定]→[国際ダイヤルアシスト]**

2 **項目を選択**

自動変換機能：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号：自動変換機能で使用される国番号を選択します。
国際プレフィックス：自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

海外で利用する留守番電話などのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。→P67
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で→⋮→[通話設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]**

2 **サービスを選択**

遠隔操作（有料）：[OK] をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
番号通知お願いサービス（有料）：[OK] をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミング着信通知（有料）：[OK] をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミングガイダンス（有料）：[OK] をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス（有料）：項目を選択して [OK] をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。
転送でんわサービス（有料）：項目を選択して [OK] をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［4G/3G/GSM（自動）］に設定します。→P168
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定します。→P168

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P181
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。

●画面が動かない／電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P32
- 本端末をパソコンにUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

●タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P33
- スリープモードになっていませんか。⏻を押して解除してください。→P48
- ［手袋タッチ］にチェックを付けているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させて操作してください。→P143

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P51
  - ◁（バック）でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定などarrowsについてのFAQや便利な使いかたについては、@Fケータイ応援団またはarrows@（http://atfe.fmworld.net/at/）をあわせてご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P30

●タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 非常用節電モード→P36
  - 画面の明るさ→P118
  - スリープ→P119
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。

●ディスプレイがちらつく

明るさのレベルの［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P118

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P150

●端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で、携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける→［再起動］をロングタッチ→［OK］
  - 電源を切った状態で⏻を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●アプリが正しく起動しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。

●タップしても正しく操作できない

- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P84、P147

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P147

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P33

●タッチでONで画面が点灯しない

画面をタップする時間が短くないですか。→P119

■ 通話・音声

●をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P129

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P64

●通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P30、P33
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P68
- ネットワークモードの種類（LTE／3G／GSM）を変更していませんか。→P168
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 音量の［着信音の音量］を0にしていませんか。→P116
- 次の機能を起動していませんか。
  - マナーモード→P116
  - 機内モード→P129
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P68
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモ設定の［着信呼出設定］→P67
  - 留守番電話サービスの［呼出時間設定］→P67
  - 転送でんわサービスの［呼出時間］→P67

●電話がつながらない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P30
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P129

■ メール

●メールを自動で受信しない

- 非常用節電モードを設定していませんか。→P78
- NX!メールのアカウント設定で受信間隔を［自動受信を行わない］に設定していませんか。→P78

■ テレビ・カメラ

●テレビの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い所にいませんか。
  TV／FMトランスミッタアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P90
- 視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→P95

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 本端末のカメラにはオート撮影機能が搭載されていますが、静止画撮影時はタッチオートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→P99

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを設定するとステータスバーにまたはが表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを起動していませんか。→P87
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P86、P87

■ 海外利用

●海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ネットワークモードの種類を［4G/3G/GSM（自動）］に変更してください。→P168
- 通信事業者を［自動的に選択］に設定してください。→P168
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P33

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P170

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P167

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P153

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると［サムネイルなし］と表示される／画像一覧でグレーの枠が表示される

画像データが壊れている場合に［サムネイルなし］やグレーの枠が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

●オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。オートGPSの低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を［停止しない］に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P31、P145
- ［オートGPS動作設定］にチェックを付けてください。→P145
- GPS機能がOFFになっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPSは停止します。→P108

■ その他

●USBマスストレージに保存したデータが表示されない

USBマスストレージを取り付け直してください。

●市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない

microUSB用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆ エラーメッセージ

●空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。［設定画面］をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P51、P147

●虹彩デバイスを起動できません

虹彩認証用カメラが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても虹彩認証用カメラが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

●全音声サービスがブロックされています／音声サービスがブロックされています／緊急サービスがブロックされています／データサービスがブロックされています

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**PUKコードがロックされています**
ドコモnanoUIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P132

●**SIMカードが挿入されていません**
ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P30

●**SIMカードはロックされています**
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P138

●**SIMカードはPUKでロックされています**
ドコモnanoUIMカードがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。→P138

●**SIM card 異常**
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときや、電源が入っている状態でドコモnanoUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

ドコモの携帯電話からの場合：（局番なしの）15710（無料）
一般電話などからの場合：0120-783-360
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で→［遠隔サポート］→［このスマートフォンから発信する］→をタップします。

2 ホーム画面で→［遠隔サポート］

3 ［遠隔サポートの接続画面に進む］→［同意する］

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P172）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の受話口／スピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合がありまデータの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。
アップデートが必要な場合には、ステータスバーの(ソフトウェアアップデート）やドコモのホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。
  - 機能の向上や追加
  - 操作性の向上
  - 品質改善
  - セキュリティパッチの最新化

✔お知らせ

- アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

❖注意事項

- アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- アップデートには時間がかかることがあります。
- 以下の場合はアップデートができません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 親機としてテザリングをしているとき

- 日付・時刻を正しく設定していないとき
- 必要な電池残量がないとき
- 本体メモリに必要な空き容量がないとき
- 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき

- インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- アップデート中は電源を切らないでください。
- ダウンロード中は電波状態のよい所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- アップデート可能期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ソフトウェアのアップデート

- アップデートは、お客様自身でインストールを実行していただく必要がございます。通知パネルを開く→通知をタップ→［インストール］をタップしてください。

■ 自動ダウンロード設定を変更する

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]→「自動ダウンロード」のボタンをタップしてON／OFFを設定

- 「自動ダウンロード」をOFFにした場合、「ステータスバーにアイコンが表示されない場合」（→P182）の操作を行ってください。

■ ステータスバーにアイコンが表示されない場合

以下の操作でアップデートを実行できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末管理]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]→[アップデートを開始]

ダウンロードが開始されます。

2 インストールを開始するメッセージが表示されたら[OK]／[インストール]

- アップデートの内容によっては［アップデートを開始］をタップ後、アップデートの実施について確認画面が表示されます。
- 確認画面が表示されたら、次の手順に従ってください。

① **実施方法を選択**

今すぐ実施（Wi-Fiのみ）：Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。

予約して実施（Wi-Fi/Xi）：Wi-Fi接続またはXi／FOMAにより、自動的に予約された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

- Xi／FOMAによるダウンロードができない場合、［予約して実施（Wi-Fiのみ）］と表示されます。spモードを設定されていない場合は、［予約して実施（Wi-Fiのみ）］をタップしてもアップデートを実行できません。Wi-Fi接続をご利用ください。

② 目的の操作を選択

ダウンロードしてインストール：ダウンロード完了後、自動でインストールが実行されます。［OK］をタップしない場合でも、約10秒後にインストールが実行されます。

ダウンロードのみ：更新ファイルのダウンロードが完了しても、自動でインストールは実行されません。インストールする場合、お客様がインストールを実行する必要があります。

✔お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの（ダウンロードが中断されました）から再開できます。
- ［予約して実施（Wi-Fi/Xi）］を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、［ソフトウェアアップデート］→［戻る］をタップした後、［今すぐ実施（Wi-Fiのみ）］を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

◆ アプリのアップデート

- アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

■ 通知アイコンからアップデートする

アップデート完了後、再起動し、通知アイコン（アップデートが完了しました）が表示されます。通知パネルを開く→［アップデートが完了しました］→［OK］をタップし、アップデート一覧でアプリのアップデートを行ってください。

■ Playストアからアップデートする

ホーム画面で［Play ストア］→画面の左端を右にフリック→［マイアプリ］より各アプリのアップデートを行ってください。

✔お知らせ

- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元へご確認ください。

主な仕様

■本体

品名		F-01J
サイズ		高さ約●●●mm×幅約●●●mm×厚さ約●●●mm（最厚部：約●●●mm）
質量		約●●●g
内蔵メモリ		ROM：●●●GB RAM：●●●GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約●●●時間
	GSM	静止時（自動）：約●●●時間
	LTE	静止時（自動）：約●●●時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約●●●分
	GSM	約●●●分
	VoLTE（音声通話）	約●●●分
ワンセグ連続視聴時間※4		約●●●分
フルセグ連続視聴時間※4		約●●●分
充電時間※5		ACアダプタ 05：約●●●分 DCアダプタ 04：約●●●分

ディスプレイ	種類	TFT（IPS-NEO™）
	サイズ	約●●●inch
	発色数	●●●色
	解像度	横●●●ピクセル×縦●●●ピクセル（●●●）
撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射積層型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：●●●inch インカメラ：●●●inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約●●●万画素 インカメラ：約●●●万画素
カメラ記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約●●●万画素 インカメラ：約●●●万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約●●●倍（●●●段階）
	動画	アウトカメラ：最大約●●●倍（●●●段階）

静止画記録サイズ		アウトカメラ： 23M最高画素 5520×4140 17M 5520×3104 8M 3840×2160 3M 2048×1536 画面ぴったり 1920×1080 ケータイメール 640×480※6 インカメラ： 5M最高画素 1920×1080 3.7M 2592×1458 3M 2048×1536 画面ぴったり 1920×1080 ケータイメール 640×480
動画記録サイズ		アウトカメラ： 4K 3840×2160※7 FullHD 1920×1080 ケータイメール 640×480 インカメラ： FullHD 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※8
Bluetooth機能	バージョン	4.2※9
	出力	power class 1
	対応プロファイル※10	HFP、HSP、DUN、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、PAN※11、HDP、ANP、FMP、PASP、PXP、TIP、HOGP

イヤホンマイクジャック	φ3.5mmイヤホンジャック、4極
表示言語	日本語／英語
入力言語（文字入力）	日本語／英語／韓国語／中国語
入力言語（音声入力）	Google音声検索機能による

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※4 ワンセグ／フルセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※5 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電し、約10分後に電源を入れて充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

※6 連写モード時のみ設定できます。

※7 ご利用中に本体の温度が上昇するとカメラを終了することがあります。

※8 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。また、IEEE802.11n/acは、MIMOに対応しています。

※9 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※10 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※11 PAN-NAP、PANUに対応しています。

■内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	●●●V
公称容量	●●●mAh

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
FullHD 1920×1080	約●●●分	約●●●秒

※ 1件あたりの最大録画時間は約●●●分です。

❖ワンセグの録画時間（目安）

- 本端末の空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

本体
約●●●分

※ 1件あたりの最大録画容量は約2GB（約600分）です。

❖フルセグの録画時間（目安）

- 本端末／microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

本体	microSDカード（1GB）
約●●●分（フルセグBMLデータ録画あり：約●●●分）	約●●●分（フルセグBMLデータ録画あり：約●●●分）

※ 外部メモリ（128GB）の1件あたりの最大録画時間は約●●●分（フルセグBMLデータ録画あり：約●●●分）です。

❖本端末で使用できるファイルについて

本端末の「WPS Office」アプリは、次のファイルの新規作成・閲覧・編集（保存）に対応しています。

種類／拡張子		新規作成	閲覧	編集（保存）
文書ファイル（Writer）	.wps	×	○	○※1
	.wpt	×	○	○※1
	.doc	○	○	○※1
	.docx	○	○	○※1
	.dot	×	○	○※1
	.docm	×	○	○※1
	.dotm	×	○	○※1
	.dotx	×	○	○※1
表計算ファイル（Spreadsheets）	.et	○	○	○※2
	.ett	×	○	○※2
	.xls	○	○	○※2
	.xlsx	○	○	○※2
	.xlt	×	○	○※2
	.xlsm	×	○※3	○※2
	.csv	○	○	○※2
プレゼンテーションファイル（Presentation）	.dps	×	○	○※4
	.dpt	×	○	○※4
	.ppt	×	○	○※4
	.pptx	○	○	○※4
	.pot	×	○	○※4
	.potx	×	○	○※4
その他	.txt	○	○	○※1
	.ps	×	×	○※5
	.xml	×	○	○※1
	.htm	×	○	○※1
	.html	×	○	○※1
	.pdf	×	○	○※6

※1 .doc/.docx/.pdf/.txtいずれかの選択した形式で保存できます。
※2 .et/.xls/.xlsx/.csv/.pdfいずれかの選択した形式で保存できます。
※3 マクロプログラムの動作には非対応です。
※4 保存時は.pptxに変換されます。
※5 Writer／Spreadsheetsの印刷画面から出力できます。
※6 Writerの保存画面／Spreadsheetsの印刷画面から出力できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-01Jの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.922W/kg※2、身体に装着した場合のSARの最大値は0.497W/kg※3です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-01J mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves[*1] and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.922 W/kg[*2] and when worn on the body is 0.497 W/kg[*3]. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/

FUJITSU LIMITED Website:
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/ (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

The product "F-01J" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*1 limits*2 for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR*1 value, when tested for compliance against the standard was 0.418 W/kg*3 for HEAD and 1.802 W/kg*3 for BODY. While there may be differences between the SAR*1 levels of various phones and at various positions, they all meet*4 the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and

② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.177 W/kg*, and when worn on the body, is 0.917 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F01J).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines.

Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.
Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.
<Prevention of Hearing Loss>
Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「iD」「公共モード」「エリアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「dミュージック」「dTV」「ｉコンシェル」「しゃべってコンシェル」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしんスキャン」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「マイマガジン」「LIVE UX」および「トルカ」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「iD」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「ｉコンシェル」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「eトリセツ」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ「ドコモバックアップ」ロゴ「電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴ「マイマガジン」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Copyright© 2016 DigiOn, Inc. All rights reserved.
  デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Facebook,INC.の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play およびその他のマークはGoogle Inc.の商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- aptXはCSR社の登録商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-FiProtected Setup、Wi-Fi Direct、Miracast、PasspointはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2015 All Rights Reserved.
- DynastreamおよびANTは、Garmin社及び関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
  ANT+™、ANT+ロゴおよびANT+ CAPABLEロゴは、Garmin社及び関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「IPS-NEO」は、株式会社ジャパンディスプレイの商標です。
- Microsoft, Windows, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, OneNote, OneDriveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合

- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社SIMカードを取り付ける

2 本端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力

4 ［ロック解除］

✔お知らせ

- SIMロックの解除状態については、ホーム画面で→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［端末の状態］をタップすると、［SIMロック状態］でご確認いただけます。

索引

ア行

アイコン 45
いつでもズームアイコン 45
ステータスアイコン 46
ステータスバー 46
スライドディスプレイアイコン 45
通知アイコン 46
ナビゲーションバー 45
バックアイコン 45
ホームアイコン 45
履歴アイコン 45
アウトカメラ 29
アカウント 149
削除 150
手動で同期 150
設定 149
追加 149
同期の中止 150
アクセスポイント 126
確認 126
初期化 127
追加 126
アフターサービス 179
アプリ一覧画面 54
アプリケーション情報 58
アプリ無効化 58
アンインストール 58
管理 58
並べ替え 58
アプリケーション 147
アンインストール 147
キャッシュを消去 147
削除 147
データを消去 147
無効化 147
アプリの権限 36
暗証番号の変更 130
あんしん遠隔サポート 178
位置情報・GPS 106
設定 108
イヤホンランチャー 141
インカメラ 28
印刷 160
インターネット通話 68
英語ガイダンス 67
英語表示 140
エラーメッセージ 177
エリアメール 79
削除 80
受信 79
受信画面および着信音確認 80
受信設定 80
設定 80
着信音 80
表示 80
遠隔操作設定 67, 170
応答拒否SMS 63, 68
オープンソースソフトウェア 196
おサイフケータイ 85
ご利用にあたって 85
ロック設定 87
おサイフケータイ対応サービス 85

お知らせLED 28, 44
おすすめアプリ 58
音・バイブ・LED 115
音声検索 111
設定 141
音声入力 38
音量 116
音量キー 29

カ行

海外設定 170
ネットワークサービス（海外） 170
海外利用 166
確認事項 166
帰国後の確認 171
設定 167
滞在先で電話を受ける 169
滞在先で電話をかける 169
通信サービス 166
外部機器接続 160
クラウドプリントでプリンタを接続 160
パソコンとの接続 160
DLNA対応機器との接続 162
Wi-Fi対応プリンタとの接続 161
Wi-Fi Miracast対応機器に表示 165
外部ストレージ 152
外部接続端子 29
かざしてリンク対応サービス 85, 86
仮想プライベートネットワーク 127
壁紙・画面 118
カメラ 95
インカメラ／アウトカメラの切り替え 97
撮影時の注意事項 95
静止画撮影 97
静止画のオート撮影機能 99
静止画の撮影設定 99
動画撮影 100
動画のオート撮影機能 101
動画の撮影設定 101
パノラマ撮影 98
連写撮影 98
画面消灯時間 119
画面消灯時のWi-Fi動作 125
画面の明るさ 118
画面のカスタマイズ 50
画面の自動回転 118
画面ロック
解除 48
解除方法の設定 133
かける 48, 133
画面ロックの音 116
かんたんお引越し 43
キーボード 37
外付けキーボード 42
手書き入力 37
テンキーキーボード 37
QWERTYキーボード 37
機内モード 129
キャッチホン 67
キャプメモ 49
緊急速報「エリアメール」 79
近接センサー 28
言語・文字・入力 140
検索 111
音声検索 111
Google検索 111
公共モード（電源OFF）設定 67
虹彩認証 134

登録 135
認証操作 135
留意事項 135
虹彩認証用カメラ 28
虹彩認証用LED 29
国際ダイヤルアシスト 170
国際電話（WORLD CALL） 63
国際ローミング（WORLD WING） 166
設定 170
ネットワークサービス 170

サ行

最近使ったアプリを表示しない 137
材質 14
時刻 150
自動ロック 130
自分からだ設定 145
充電 31
充電用アダプタ 32
注意事項 31
パソコン 33
ACアダプタ 32
充電開始音 115
受話口 28
仕様 184
商標 194
証明書のインストール 137
初期化 149
初期設定 43
信頼できる認証情報 137
スグ電 68
スクリーンショット 35
スクリーンセーバー 119
スケジュール 109
登録 109
表示 109
ステータスアイコン 46
ステータスバー 46
ステレオイヤホン端子 29
ストラップホール 29
ストレージとUSB 148
内部ストレージ 148
SDカード 148
ストレージのタイプ 137
スピーカー 28
スペルチェック 140
スライド 34
スライドイン機能 49, 143
スライドインランチャー 49
スライドスポット 49
スライドディスプレイ 45
スライドでカメラ起動 130
スリープ 119
スリープモード 48
スロットキャップ 29
スワイプ 34
静止画撮影画面 96
静止画のオート撮影機能 99
オートフォーカス 99
シーン別撮影 99
自動露出調整 99
タッチオートフォーカス 99
ちらつき調整 99
ホワイトバランス 99
静止画の撮影設定 99
位置情報 100
グリッド表示 100

撮影サイズ……99
撮影モード……99
セルフタイマー……100
タッチ シャッター……100
フラッシュ……99
保存先……100
露出／WB調整……100
HDR撮影……100
静止画表示……103
静止画補正……118
セキュリティ解除方法……133
暗証番号……133
虹彩認証……133
タッチ／スワイプ……133
パスワード……133
パターン……133
設定メニュー……115
送話口……29
ソフトウェアアップデート……181

タ行

ダイヤルパッド操作音……116
タスク管理……51
タッチ操作音……116
タッチ操作バイブ……116
タッチパネル……29
注意事項……34
使いかた……34
タップ……34
タップ&ペイ……87
ダブルタップ……34
端末管理……146
端末管理アプリ……130
端末情報……151
端末の状態……151
認証……151
法的情報……151
知的財産権……194
着信音……115
着信拒否……63
着信通知……67
着信バイブレーション……115
通信事業者……168
通知アイコン……46
通知音……115
通知パネル……47
パネルスイッチ……47
通知を非表示……116
提供元不明のアプリ……137
ディスプレイ……29
縦／横画面表示の切り替え……35
データ使用……125
データ通信を有効にする……126
データ通信・機内モード……125
データローミング……167
手書き入力……37
テキスト編集……41
テキスト読み上げの出力……140, 151
テザリング……128
かんたん接続……129
Bluetoothテザリング……129
USBテザリング……128
Wi-Fiテザリング……128
デフォルトのSMSアプリ……141
手袋タッチ……143
テレビ……89
映像切替……95
音声種別……95

起動.....90
ご利用にあたって.....89
再生.....94
視聴予約.....92
字幕言語.....95
字幕表示.....95
字幕表示位置.....95
終了.....90
設定.....94
チャンネル設定.....95
放送波.....89
リンク.....92
録画.....93
録画予約.....92
テレビ視聴画面.....91
テンキーキーボード.....37, 39
ケータイ入力.....39
ジェスチャー入力.....39
フリック入力.....39
2タッチ入力.....39
電源キー.....29
電源ボタンですぐにロックする.....130
電源を入れる.....33
電源を切る.....33
伝言メモ.....67
設定.....67
リスト.....67
録音.....63
ON／OFF.....67
転送でんわサービス.....67
電卓.....111
電池.....120
充電.....31
寿命.....32
電池の最適化.....120
電池の使用量.....120
電話.....61
受ける.....63
かける.....61
緊急通報.....62
待機を追加.....61
通話音量.....64
通話設定.....67
発信者番号通知.....61, 67
プレフィックス選択.....61
2秒間の停止を追加.....61
電話帳.....70
インデックス.....70
インポート.....72
エクスポート.....72
お気に入り.....71
グループ登録.....71
グループの利用.....71
検索.....70
削除.....71
電話帳リスト.....70
登録.....70
プロフィール画面.....71
編集.....71
マイプロフィール.....72
動画再生.....103
動画撮影画面.....96
動画のオート撮影機能.....101
オートフォーカス.....101
ちらつき調整.....101
ホワイトバランス.....101
動画の撮影設定.....101
撮影サイズ.....101

撮影モード……101
手ぶれ補正……101
保存先……101
ライト……101
露出／WB調整……101
HDR撮影……101
動画補正……118
時計……110
アラーム……110
ストップウォッチ……110
世界時計……110
タイマー……110
ドコモデータコピー……112
データ移行……112
データ保管BOXへ保存・復元……114
microSDカードへ保存・復元……113
ドコモのサービス／クラウド……145
遠隔初期化……145
オートGPS……145
オープンソースライセンス……145
おすすめ使い方ヒント……145
端末エラー情報送信……145
ドコモアプリ管理……145
ドコモアプリパスワード……145
ドコモ位置情報……145
ドコモクラウド……145
ドコモサービス初期設定……145
プロフィール設定……145
dアカウント設定……145
USBデバッグ切替……145
ドコモメール……73
ドコモnanoUIMカード……29
暗証番号……31，132
取り付け……30
取り外し……30
ドコモnanoUIMカードスロット……29
ドラッグ……34
トラブルシューティング……172
トルカ……88

ナ行

内部ストレージ……152
なぞってコピー……50
ナビゲーションバー……45，143
入力方法の切り替え……40
認証ストレージの消去……137
ネットワーク暗証番号……132
ネットワークサービス……67
ネットワークモード……168

ハ行

パーソナルアシスト……142
パーソナルノート……136
背面マイク……29
パケット接続の停止……126
パスワードの変更……130
パスワードを表示する……130
パターンの変更……130
パターンを表示する……130
はっきりボイス……64
バックアップとリセット……148
自動復元……148
データの初期化……149
データのバックアップ……148
ネットワーク設定のリセット……148
バックアップアカウント……148
発信者番号通知……61，67

発着信履歴.....66
バッテリーセーバー.....120
パン.....34
番号通知お願いサービス.....67
非常用節電モード.....36
日付.....150
日付と時刻.....150
時刻設定.....150
タイムゾーンの選択.....150
タイムゾーンを自動設定.....150
日付設定.....150
日付と時刻の自動設定.....150
24時間表示.....150
ぴったりボイス.....64
ビデオコール
受ける.....63
かける.....61
響カット.....68
ピンチ.....35
ファイル操作.....154
フォント.....140
フォントサイズ.....140
ふせたらサウンドオフ.....115
ブックマーク.....81
削除.....81
編集.....81
プッシュ信号.....64
フラッシュ.....29
プリインアプリ一覧.....55
フリック.....35
ブルーライトカットモード.....118
フルセグ.....89
プロフィール.....145
便利機能.....141
ポインタの速度.....140
防水／防塵、耐衝撃性能.....22
ホームアプリの情報.....60
ホーム画面.....52
アプリ一覧に戻す.....53
アプリ無効化.....53
カスタマイズ.....52
壁紙.....53
きせかえ.....53
削除.....54
追加.....54
バックアップと復元.....59
フォルダを作成.....52
ホーム画面一覧.....54
ホーム画面から削除.....53
マチキャラ設定.....54
ホーム画面切替.....51
保証.....179
歩数計.....144
本体メモリ.....152

マ行

マイク.....29
マイプロフィール.....72
マイマガジン.....59
マップ.....108
マナーモード.....116
アラームONマナー.....117
サイレントマナー.....117
通常マナー.....117
マルチコネクション.....124
水抜き.....26
迷惑電話ストップサービス.....67
メール.....73, 75

メッセージ.....73
メディアプレイヤー.....104
音楽／動画の再生.....104
プレイリスト.....106
dマーケットからの購入.....105
メモリ.....148
文字入力.....37
音声入力.....38
キーボード.....37
辞書ユーティリティ.....41
設定.....40
定型文ユーティリティ.....41
テキスト編集.....41
持ってる間ON.....119

ヤ行

ユーザー.....146
ユーザー補助.....151
色反転.....151
色補正.....151
大きい文字サイズ.....151
押し続ける時間.....151
おすすめ使い方ヒント.....151
拡大操作.....151
高コントラストテキスト.....151
字幕.....151
テキスト読み上げの出力.....151
パスワードの音声出力.....151
ユーザー補助のショートカット.....151
輸出管理規制.....193

ラ行

ライト.....29
ランチャー設定.....141
リセット.....149
利用アプリの固定.....139
留守番電話サービス.....67
ロック画面.....48
壁紙.....118
ロック画面メッセージ.....130
ロック・セキュリティ.....130
ロングタッチ.....34

ワ行

ワンセグ.....89

英数字・記号

Androidビーム.....158
APN.....126
Bluetooth Low Energy.....158
Alert Notification.....158
Alert Notification詳細設定.....158
Find Me通知音.....158
Find Me通知音選択.....158
Proximity.....158
Time.....158
Bluetoothアンテナ部.....28
Bluetooth通信.....155
機能ON／OFF.....156
接続.....156
接続解除.....157
データ送受信.....157
名前を変更.....157
ペア設定.....156
ペアリング解除.....157
Bluetoothテザリング.....129

Chrome 80
新しいブラウザウィンドウを開く 81
印刷 82
画像を保存 82
画面操作 80
シークレットタブ 81
設定 82
登録 81
なぞってコピー 82
表示 80
ブックマーク 81
履歴 81
リンク操作 82
dマーケット 83
dメニュー 83
DiXiM Player 162
DLNA 162
デジタル録画番組を再生 164
配信 163
本端末で再生 164
DiXiM Serverの設定 162
DLNA対応機器で再生 163
docomo LIVE UX 52
Dolby Audio 117
FAQ 172
FMトランスミッタ 142
FOMAアンテナ部 29
Gmail 75
表示 75
Google 139
Google検索 111
Googleマップ 108
Google Play 83
GPSアンテナ部 29
iDアプリ 88
microSDカード 152
写真の転送（PTP） 160
データ消去 148
取り付け 153
取り外し 153
パソコンから操作 160
ファイル転送 160
フォーマット 148
microSDカードスロット 29
Miracast 165
NFC通信 158
NFC Type設定 86
NFC／おサイフケータイ ロック 87
解除 88
NX!メール 76
PINコード 132
設定 138
入力 138
変更 138
PINロック解除コード（PUK） 132
PINロックの解除 138
Playストア 83
アプリのインストール 84
アプリの削除 84
QRコードリーダー 102
読み取り 102
QWERTYキーボード 37
RGBセンサー 28
SAR 188
Scene 103
SIMカードロック設定 138
SIMロック解除 197
Smart Lock 136

SMS.....73
削除.....74
作成.....73
受信.....74
設定.....75
送信.....73
転送.....74
表示.....74
返信.....74
Super ATOK ULTIASの設定.....40
共通設定.....40
初期化.....41
操作音・バイブ.....40
手書き入力.....40
デザイン.....41
テンキー.....40
変換候補一覧の表示.....41
ユーティリティ.....41
QWERTYキーボード.....40
ULTIASオススメ機能.....40
TV／FMトランスミッタアンテナ.....29, 90
USBテザリング.....128
VPN.....127
接続.....127
切断.....127
追加.....127
Wi-Fi.....121
かんたん接続.....122
削除.....122
詳細設定.....125
スキャン.....122
接続.....121
追加.....122
Wi-FiオートON／OFF.....123
Wi-Fiアンテナ部.....28
Wi-Fiテザリング.....128
Wi-Fiテザリングかんたん接続.....129
WPS方式.....129
Wi-Fiネットワークのかんたん接続.....122
AOSS方式.....122
WPS方式.....122
Wi-Fi Direct.....123
WORLD CALL.....63
WORLD WING.....166
Xiアンテナ部.....29

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P67
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P115
電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P116
着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P67

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から　dメニュー → [My docomo（お客様サポート）]→ [ドコモオンライン手続き]

パソコンから　My docomo (https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/) →「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示　**-81-3-6832-6600**（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600**（有料）

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申し込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

危険です、
歩きスマホ。

キケン！
水ぬれ充電

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

Li-ion 00

'16.11（1 版）
CA92002-9452